



7月 院生研究報告会・大学院交流会を開催！



会場の様子

大学院では、各院生の研究力向上を目指す機会として、学期ごとに年2回「院生研究報告会」を開催しています。7月8日(土)には今年度の1回目を実施しました。

今回、初めて発表した修士課程1年の秋葉朝香さんから感想を伺いました。ご自分の発表を振り返り、異なる研究領域の教員からの質問を受けたことや他の院生の発表を聞いたことで、今後の研究を進める上で参考になったようです。

修士課程1年 秋葉 朝香 さん

研究テーマは「国際人権法からみた日本の入管収容及び難民認定制度の研究」。

日本の出入国管理及び難民認定法について、日本の難民や外国人の人権などの取り扱いを明らかにし、今後の人権問題への課題改善について研究を行っています。

現在の研究の進め方としては、国際人権条約や、国際法学者の論文などを対象に読み込み、先行研究レビューを行っています。また、出入国管理や難民に関する国会の議事録を分析しています。

今思い返してみると院生研究報告会では、発表順を待つ間から緊張してしまい発表後の質疑応答では、先生からの質問にとっさに答えられなかったことが少し心残りでした。また、他の院生の発表を聴いて研究内容を具体的に知り、大変興味深く参考になりました。今後は今までの研究に加え、日本の難民問題に関わる方へのインタビュー調査などを行い研究を深めたいと考えています。



秋葉さん 発表の様子

＼ 大学院交流会を行いました！ ／

院生研究報告会終了後に、大学院交流会も開催しました。ここ数年は新型コロナウイルスの影響で開催を見送っていましたが、久しぶりに院生同士で交流する機会を設けることができました。

今回は現役院生の他に修了生、教職員が参加。テーブルを囲んで和やかに親睦を深めました。院生研究報告会の感想を話したり、教員から研究についてアドバイスをいただいたりと、普段なかなか話す機会が少ない教員や修了生と交流する有意義な時間となったようです。

今回は企画・運営から会場設営まで、院生が自主的に準備を行いました。「院生の皆で準備して、楽しい交流会にできてよかった」と話していました。



院生のみなさん、
発表お疲れ様でした！

大学院 Newsletter は毎月発行しています！詳しくは下記 QR コードからホームページをご覧ください。

